

2019年度 ホソカワ粉体工学振興財団 KONA 賞ならびに研究助成事業のご案内

公益財団法人 ホソカワ粉体工学振興財団

当財団は、粉体工学・技術の発展に資することを旨として、平成3(1991)年に創設され、平成24(2012)年に公益法人に認定されました財団法人で、毎年、粉体工学に関する講演討論会の開催や、英文学術誌 KONA Powder and Particle Journal の出版などの事業を進めると共に、大学等の研究機関に所属されている方々を対象として主に下記のような内容の助成事業を行います。

1. 粉体工学に関する優れた研究業績に対する褒賞 (KONA 賞)
2. 粉体工学に関する研究のための研究費助成
3. 粉体工学に関する研究者育成のための援助
4. 粉体工学に関する学会・シンポジウム等開催の援助

これらの助成事業は、例年5月から募集を開始し、7月下旬に締め切れ、選考委員会での審査、理事会での承認を得て、12月に採択結果が発表されます。ご応募

には、所定の推薦書あるいは申請書の提出が必要です。

助成対象や申請方法、提出締切日等の募集要項の詳細につきましては、2019年4月頃に当財団のホームページ等で公開され、関連書類はご関係の学・協会、大学(学部、学科)、研究所等の事務所に5月に発送の予定です。もしご所属の部署にて入手できない場合には、財団ホームページ内の下記の助成事業サイト

(<http://www.kona.or.jp/jp/grants/index.html>)

からダウンロードいただくか、または下記にご連絡下さい。

<推薦書・申請書の提出先および連絡先>

(公財)ホソカワ粉体工学振興財団 事務局

〒573-1132 大阪府枚方市招提田近1-9

TEL: 072-867-1686, FAX: 072-867-1658

E-mail: contact_zasubmit@hmc.hosokawa.com

URL: <http://www.kona.or.jp>

編集後記

Editorial Note

この30年間続いた平成の元号も来年春に終わることになりましたが、その最後の年の夏は大変な猛暑で、東日本では平年比+1.7°Cとなり、1946年の統計開始以降、最も高くなったようです。また、7月始めの西日本豪雨では山陽新幹線も止まり、8月終りの台風21号による暴風雨と高潮で関西空港が3日間程全く発着不可となり、そして9月の北海道地震では道内全域の300万戸近くで停電するなど、これまでに経験したことのないような様々な自然災害が続きました。

また、今年は北朝鮮の金正恩朝鮮労働党委員長と韓国の文在寅大統領との電撃的な南北首脳会談、引き続き米国トランプ大統領との史上初の米朝首脳会談に世界が驚かされました。それと共に、大国の中国やロシアの動きも活発化し、世界各地で激しく変化する情勢の中で日本の今後が気になるところです。

一方、秋には京都大学特別教授本庶佑先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されたり、スポーツでは、平昌冬季オリンピックで日本人が史上最多13個のメダルを獲得、ジャカルタでのアジア競技大会では池江璃花子選手が日本選手で過去最多の6冠を達成、そして大坂なおみ選手がテニスの世界4

大会の一つの全米オープンで日本人初優勝するなど様々な分野での日本人の活躍が明るいニュースとなりました。

さて、本号は、2018年9月に開催されました第52回粉体工学に関する講演討論会の講演内容を特集として掲載しています。本会を主催しているホソカワ粉体工学振興財団では、昨年よりKONA賞の国際化を図り、広く世界から候補者の推薦を受けることになり、スイス連邦工科大学Pratsinis教授が、同財団から初めての海外受賞者となりました。そして、上記講演討論会にて贈呈式ならびに受賞特別講演が行われました。その講演資料を山形大学藤原翔先生に翻訳して頂いた記事を本誌に掲載しています。

また今年、この粉砕誌が、JSTによって運営されています科学技術情報発信・流通総合システムJ-STAGEに採択され、No.61(2018)からNo.50記念号(2006/2007)までのバックナンバーの本オンラインプラットフォームでの掲載が完了し、様々な検索が可能となり利便性が大幅に向上しました。

本誌につきまして、ご意見、ご要望等がございましたら、何なりと事務局までご連絡頂けましたら幸いです。よろしくお願い致します。(T.Y.)